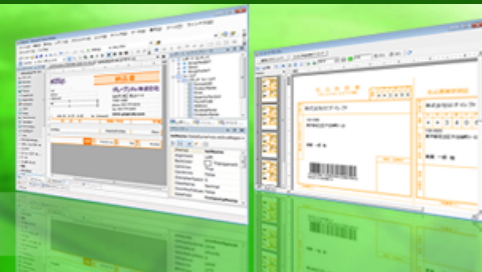


# 新バージョンとなった 信頼と実績の帳票開発支援ツール ActiveReports for .NET 3.0J



帳票にまつわるシステム開発は、プロジェクト全体の中でも、とりわけ大きな工数を要する部分だ。従って、この局面におけるツールの選択によっては、開発の進捗を大きく左右することになる。グレースシティの提供する「ActiveReports for .NET」は、Windowsフォーム、Webフォームの双方を単一製品でサポートする、.NET Frameworkに完全対応した帳票開発支援ツールとして豊富な実績と高い人気を誇る製品。今回、その最新バージョンとなる「ActiveReports for .NET 3.0J」が登場する。

## 国内外で圧倒的な実績と人気を誇る 帳票開発支援ツールの定番

「ActiveReports」は、ActiveX版として登場して以来、国内外の数多くの開発プロジェクトで広く活用され、開発者から大きな支持を得てきた帳票開発ツール製品だ。

コンポーネント製品に関する世界最大規模のマーケットプレイスである「ComponentSource」が発表した“Bestselling Products Awards for 2006”において、「ActiveReports for .NET」が国内およびグローバルの双方の市場で、それぞれ売上ナンバー1の座を獲得した。豊富な実績に基づく高い人気は、こうした事実にも顕著に現れている。また、国内有数のコンポーネント・ベンダーであるグレースシティにおいても、最大の売上ライセンス数を誇る(2006年度)製品である。

このように帳票開発支援ツールとして高い人気を誇るActiveReportsの最新バージョンとなる「ActiveReports for .NET 3.0J」が、今回リリースされる運びとなった。

ActiveReportsにおいてまず注目されるのは、開発者に快適な操作性をもたらす帳票設計環境「レポートデザイナ」が提供されていることだ。このレポートデザイナは、Visual StudioのIDEと完全に統合している。そのため、Visual Studioと同様のスタイルで帳票を設計し、発生するイベントに応じた様々な処理をVisual Basic .NETやC#のコードで記述できる。

この辺りは、独自の帳票設計ツールやスクリプトの利用を前提とした一般的な帳票開発支援ツールに対して、従来からActiveReportsが持つ際だった特長だ。これにより、帳票設計環境からシームレスにコードの記述が行えるなど、高い開発生産性を実現している。加えて、印刷制御などをはじめとした、より詳細かつ柔軟な帳票処理が可能となる。

Visual Studio 2005で提供されるインテリセンスやコードスニペットといった機能にも対応しており、開発者によるコーディング作業の省力化を促進し、さらなる開発生産性の向上を実現している。

## 開発の効率を上げながら 高品質な帳票を実現する新機能の数々

ActiveReports for .NET 3.0Jでは、帳票設計の様々な場面をサポートする新機能が追加されている。まず、レポートデザイナにおいて設計中の帳票イメージを拡大・縮小して表示できる機能が装備され、より緻密なレイアウト・デザインが容易に行えるようになった。合わせて、プレビュー表示機能も搭載されており、実行時に実際に出力されるイメージを確認しながら、帳票設計を進めていくといったことも可能だ。

さらに、帳票設計レイアウトの行間隔および文字間隔をポイント単位で任意に指定できる機能も盛り込まれている。これまでのように、帳票レイアウト上にスペースなどを挿入して行間や字間を調整するといった作業を行うことなく、ニーズに応じた帳票イメージを、よりスマートに実現できるようになった。

そのほかにも、帳票イメージに任意の注釈(コメント)を追加する機能があり、テキスト・ボックスや吹き出し、四角形、矢印などを含む6種類を利用することができる。例えば、ボタン・クリックなどのイベントと連動して、こうした注釈を帳票上に表示するといった処理も、簡単なコーディングによって実現でき、より高度な帳票運用を支援している。

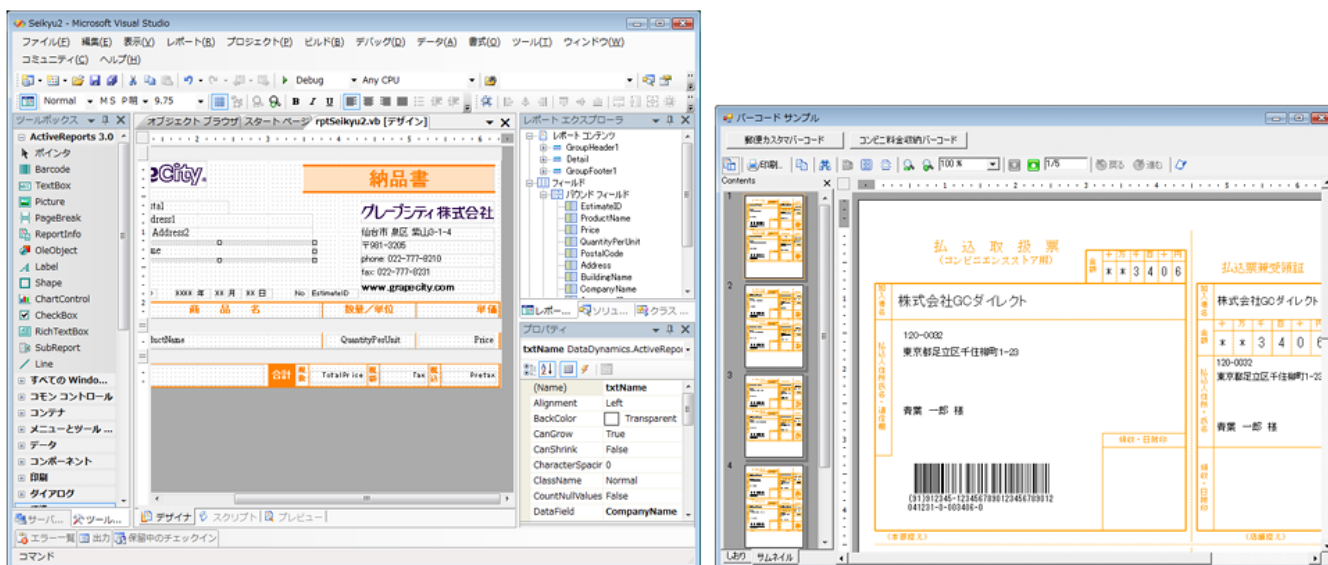
## 帳票に関するシビアな要求を抱える 国内ユーザーの声を製品に反映

このように、ActiveReportsの新バージョンでは、帳票開発にかかわる作業を大幅に軽減しながら、より高品質な帳票を実現する数々の機能が搭載されている。販売元のグレーシティによれば、これらの強化点の多くは、国内の既存ユーザーからの要望を強く反映したものであるという。

よく言われるように、わが国では帳票のフォーマットや品質について、独自の厳しい要求が存在する。グレーシティでは、国内ユーザーの帳票に関するシビアなオーダーにも応え得る機能を実現すべく、開発元である米国Data Dynamics社に対して継続的に働きかけてきたという経緯があった。

一方、今回登場するActiveReportsは、最新のWindows Vistaに対応していることも強化点の目玉の1つとなっている。これについてグレーシティでは、前バージョンである「ActiveReports for .NET 2.0J」に関しても、サービスパックの配布によってWindows Vistaへの対応を可能にしている。

こうした一連の取り組みも、ActiveReportsが開発者の間で信頼できる製品として絶大な支持を獲得し、帳票開発支援ツールの定番であり続ける、重要な背景となっているのである。



画面：ActiveReports for .NET 3.0Jでは、Visual Studio 2005に完全統合されたフォームデザイナを使って、帳票レイアウトを効率的に開発することが可能。今回新たに、黒いバーのドット補正に対応したEAN128バーコードも追加され、高精度が求められるコンビニ・バーコードへの対応も実現している。

### お問い合わせ先

グレーシティ株式会社

所在地：〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山3-1-4

URL：<http://www.grapecity.com/japan/AR3/>

## 日経BP社

この記事は日経BP社のIT専門サイト「ITpro」に2007年6月に掲載されたものです。